

**家庭部門の脱炭素化に向けた官民連携の取り組み
「ガス石油省エネ給湯機普及促進会議（スマいる給湯プロジェクト）」が始動**

株式会社パロマ（愛知県名古屋市／代表取締役社長：中山能勝）が加盟する一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 を含む 24 団体（給湯機メーカー、エネルギー事業者、住宅・流通・消費者団体など）は、2026年5月19日、「ガス石油省エネ給湯機普及促進会議（通称：スマいる給湯プロジェクト）」を設立しました。

本会議は、2050年カーボンニュートラルの実現および2035年度・2040年度の温室効果ガス削減目標への貢献を目的とした、官民連携による取り組みです。パロマは、省エネ給湯機を製造・販売するメーカーとして、本取り組みの趣旨に賛同し、普及促進に向けた活動を推進してまいります。

■ 設立の背景

政府は、2035年度60%削減、2040年度73%削減（2013年度比）という温室効果ガス削減目標を掲げています。家庭部門では、給湯分野がエネルギー消費の約3割を占めており、同分野における脱炭素化が重要な課題となっています。ガス石油省エネ給湯機は、従来型機器と比較して約13～52%のCO₂削減効果が期待される一方、認知不足や施工面での課題などから、普及が十分に進んでいない状況です。

■ 本会議の概要

- ・名称：ガス石油省エネ給湯機普及促進会議（スマいる給湯プロジェクト）
 - ・設立日：2026年5月19日
 - ・目的：家庭部門におけるCO₂削減に向けた省エネ給湯機の普及促進
 - ・目標：2035年度に省エネ給湯機のスタンダード化（市場の約75%）を実現
- なお、本会議（座長：芝浦工業大学 秋元孝之建築学部長）では業界横断での課題解決に向け、「普及PR活動」「ドレン施工課題対応」等のワーキンググループを設置し、実効性ある施策を推進していきます。

● 公式 HP

<https://www.jgka.or.jp/smile910project/index.html>

**■ パロマの省エネ給湯機**

パロマでは、「スマいる給湯プロジェクト」の対象となる高効率給湯機として、ハイブリッド給湯機およびエコジョーズを展開しています。

**● ハイブリッド給湯器**

ガスと電気のコンパクトなハイブリッド給湯器
「ハイブリッドプラスシリーズ」

（主な特徴）

- ・電気とガス、それぞれの特性を活かした高効率給湯器
- ・3.5時間のスピード施工
- ・省スペースに設置可能
- ・一体型2ユニットでコンパクト
- ・ウルトラファインバブル発生装置搭載タイプもラインナップ

（商品紹介サイト）

[ハイブリッドプラスシリーズのご紹介](#)

ハイブリッドプラス

HYBRID PLUS





●エコジョーズ

おいだき付き給湯器「ブライトシリーズ」

(主な特徴)

- ・排気熱を再利用して効率を上げる「エコジョーズ」タイプ
- ・節水&節約「エコモード」搭載
- ・おいだき配管の残湯を洗い流す「配管クリーン機能」
- ・凍結による被害を最小限にする、水側組立
- ・設置優先の配管レイアウト
- ・ウルトラファインバブル発生装置搭載タイプもラインナップ

(商品紹介サイト)

[ブライトシリーズのご紹介](#)



パロマは今後も、業界団体や関係各所との連携を通じて高効率給湯機の普及促進に取り組み、家庭部門の脱炭素化と、快適で持続可能な暮らしの実現に貢献してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。